

手賀沼下水道事務所

松永 睦

平成26年度入庁

電気



異動経歴

H26年採用	県土整備部営繕課
H29年	教育庁企画管理部財務施設課
H30年	教育庁企画管理部教育施設課
R2年	手賀沼下水道事務所

Q1 仕事の内容を教えてください。また、現在の仕事の魅力や、やりがいを感じる瞬間について教えてください。

手賀沼流域7市から集めた汚水を処理する手賀沼終末処理場で、受変電設備、計装設備、中央監視設備といった電気設備の工事を担当しています。具体的には、設計書の作成、入札手続、契約後の工事監理が主な業務です。供用から約40年が経過した処理場は、老朽化した設備を計画的に更新し、機能を維持していく必要があります。設備の保全を通じて、周辺地域の水環境を守り、県民の生活を下支えできるとやりがいを感じます。

Q2 千葉県を選んだ理由を教えてください。

公共性が高く、人の役に立つ仕事をしたいと考えていました。幼少期から過ごした千葉県に愛着があり、地元の発展に貢献したいと考え、千葉県職員を志望しました。

Q3 職場の雰囲気について教えてください。

今の所属は職員20人程度の小規模な事務所です。上司や同僚との垣根も低いため、困ったことなどがあっても気軽に相談でき、仕事がしやすい環境だと感じています。また、事務所が駅から徒歩圏内でありながら、川沿いののどかな雰囲気にあることも、個人的には気に入っています。

Q4 仕事をする上で心掛けていることを教えてください。

電気設備の工事は、機械、土木、建築、一般行政など他職種との連携が不可欠です。スケジュールの共有や、電気以外の他工種の工事と食い違いや過不足がないよう摺り合わせを行い、よりよい施設が完成するように努めています。また、処理場の設備は工事に必要な予算が高額になりがちですが、その1円1円が税金だということを忘れずに、適正に設計・工事監理を行うよう心掛けています。

Q 5 仕事の中で難しく感じていることや苦勞したこと、大変だったことを教えてください。

特に採用されて間もない頃は、専門知識の不足や元来の要領の悪さから、業務への足掛かりがなかなか掴めず、悩むことが多かったです。経験豊富な先輩方が、電気設備の専門知識から仕事の進め方、関係先とのコミュニケーションの取り方まで教えてくださり、だんだんこなせるようになってきたと感じます。今後も周りの方から業務スキルを吸収しつつ、少しずつ後輩へ伝えていけるようになればと思います。

Q 6 あなたが採用された職種の魅力について教えてください。

電気職の業務は、工事、施設管理、保安監督、企画立案など多岐にわたります。異動のたびに覚えることは多いですが、その分、新しい知識を得られ視野が広がります。

Q 7 あなたの考える千葉県の魅力を教えてください。

地域ごとに気候などの特性が豊かである点が魅力だと感じます。県職員の仕事を通じて、県内の様々な地域に足を運ぶことで、その魅力を知ることができました。

Q 8 休日や退庁後などのリフレッシュ方法を教えてください。

アマチュアオーケストラに所属しており、休日は仲間との合奏を楽しんでいます。

Q 9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

これまでは工事を担当することが多かったため、今後は今まで携わってこなかった業務を通じて、より幅広い知識や経験を身に付け、業務に生かしていければと考えています。

Q 10 受験者へのメッセージをお願いします。

県の電気職は、様々な側面から県民生活を支える、やりがいのある仕事です。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。



Schedule～わたしの一日～

8:00～8:30

出勤・メールチェック

電子決裁/供覧文書のチェック

8:30～9:00

打合せの準備

9:00～10:00

処理場へ移動

10:00～11:00

工事受注者と打合せ

11:00～12:00

工事現場の確認

12:00～14:00

昼休憩・事務所へ帰庁

14:00～14:30

メールチェック

電子決裁/供覧文書のチェック

14:30～16:30

工事提出書類の確認、所内決裁

処理

16:30～16:45

業務実績の記録、翌日の予定確認

16:45

残務処理の後、退勤